

令和元年度『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座実施要項

1 趣 旨

家庭教育の充実に向けて、親子関係や家族関係などをより豊かなものにしていくきっかけづくりのために、広島県教育委員会及び府中町教育委員会が開発した『親の力』をまなびあう学習プログラム（以下「学習プログラム」という。）を活用した講座を実施する。

2 実施主体

府中町教育委員会

3 内 容

- (1) 学習プログラム（別紙1）を活用した参加型学習講座とする。
- (2) 1講座当たりの所要時間は、60分から120分で構成する。ただし、希望等により短時間でのプログラムに変更可能とする。
- (3) 複数講座の開催や期間を設けて数回シリーズも可能とする。

4 対 象

公民館、学校、幼稚園、保育所並びにPTA、婦人会、女性会、老人会、町内会、子ども会、子育てサークル等の関係者及び家庭教育に関心のある方

5 派遣する講師

府中町ファシリテーター

※ファシリテーターとは、学習プログラムを活用して実施する講座の進行役を務める者をいう。
県及び市町が実施したファシリテーター養成講座終了者。

6 期 間

平成31年4月～令和2年3月

7 経 費

申込団体が講師に対し、交通費を負担する。（謝金等の報酬は不要）

8 申込み等

- (1) 申込書（別紙2）を、講座希望開催日1ヶ月前までに、府中町教育委員会事務局社会教育課に郵送、ファクシミリ及び電子メールで送信する。
- (2) 申込内容に沿って、府中町教育委員会事務局社会教育課で日程調整を行う。

※府中町教育委員会事務局社会教育課

所在地 〒735-0006 安芸郡府中町本町一丁目10-15

電 話 082-286-3272

F A X 082-286-3298

e-mail:syakaikyokuka@town.hiroshima-fuchu.lg.jp

9 申込団体が行う事

- (1) 参加者への広報、会場確保・設営等
- (2) 講座の実施に当たり、必要な物品等の準備

「親の力」をまなびあう学習プログラム ～寄って、話して、自ら気づく～

全体のねらい＜自他の子育てを振り返り学び合うなかで、親が「自ら気づき」「自らまなべる」力を高める。＞

段階 <ねらい>	対象 <ねらい>	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
「自分の親は将来の自分」期 (子育て準備期) <自分の親子関係を振り返ったり、親となる自分を想像することで、これからの自分の生き方を考える。>	「親はウルサイけどアリガトウ」編 (中学・高校生などの青少年対象) <親の立場を想像しこれまでの自分を振り返ることで、これから親となるであろう自分の生き方を考える。>	1	おぎゃーってスゴイ！ ～生まれてきた自分、やがて生まれてくる命～ <卵を自分の子どもに見立て、命の大切さと、親として命に関わることの責任の重さを実感する。>
		2	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～ <自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。>
		3	おや！ おや？ ～自分のあゆみと親のかかわり～ <「自分史」を作るなかで親との関係を振り返り、将来どんな親になりたいかを考える。>
	「自分が親になるなんて」編 (まもなく親になる人対象) <生まれてくる命を育む責任を自覚し、パートナーと共に出産・育児を迎える自覚を深める。>	4	親になるって！？ ～命を授かる責任と喜び～ <子どものいる生活を想像し、親になる心構えを持つ。>
		5	妊娠期のカラダとココロ ～パートナーの理解と協力～ <妊娠期の女性の体と心の変化を理解し、男女の相互理解と支え合いの大切さを考える。>
		6	出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～ <これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。>
「過ぎてしまえば一番幸せ」期 (子育て前期) <子どもがいる生活を受け入れるとともに、子どもの成育の過程を余裕を持って楽しみ、子どもをしっかり受けとめる。>	「ヘトヘトでもニッコリ」編 (0～2歳児の親対象) <命を守る責任を自覚し、育児書などマニュアルにしばられない自分らしい子育てをすることに自信を持つ。>	7	私の時間、子どもの時間 ～つくってますか？心のゆとり～ <多忙な育児のなかで心にゆとりを持てるよう、上手な時間の使い方について考える。>
		8	お付き合いって難しい？！ ～「私と周り」の人間関係を考える～ <自分と周囲の人間との関係を良好にすることについて考える。>
		9	ワイワイ、キャーキャー！！ ～「子どもと遊び」について考える～ <情報や意見を交流し、子どもを豊かに育む遊びについて考える。>
	「ワクワク・ドキドキ」編 (小学1～3年生の親対象) <子どもを多様な価値観で受けとめ、自ら伸びようとする芽を見つけて、成長を支援する。>	10	買って買って！！ ～さあ困った！あなたなら～ <子どもの気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。>
		11	〇〇ちゃんがするっ！！ ～自我の芽生えと親の思い～ <子どもの思いに寄り添い、自主性を伸ばすために、親がどう支援すれば良いかを考える。>
		12	もうすぐ小学生！ ～これまでの子育てを振り返る～ <これまでの子育てを振り返り、これからの育て方を考える。>
「親子で登る自立の坂道」期 (子育て後期) <子どもの成長を見守り、受け入れるなかで、親も共に成長しようとする姿勢を持つ。>	「子が親離れしていく」編 (小学4～6年生の親対象) <子どもの心身の変化を理解し、子どもの主体性を伸ばす親のあり方について考える。>	13	親子でやってみよう！ ～楽しい小学校生活を過ごすために～ <子どもが新しい環境に慣れ、小学校生活を楽しく過ごすために、親子で取り組めることについて考える。>
		14	くらべないで！ ～同じ子どもなんて一人もいない～ <他の子どもと比べることの功罪を考え、自分の子が持つかけがえない価値を再認識する。>
		15	みなおして！ ～多様な視点から子どもを見る～ <多様な視点から見ることにより、心に余裕が生まれることに気づく。>
	「親が子離れできない」編 (中学生・高校生の親対象) <子どもが自立しようとすることを受け入れ、支援するとともに、親自身の子離れについて考える。>	16	体と心の変化 ～子どもの思い、親の戸惑い～ <子どもの成長に戸惑う自分自身をみつめなおし、自立しようとする子どもの気持ちを理解し支えることについて考える。>
		17	どうする？ どういう？ ～子どもの人間関係へかかわり～ <子どもの交友関係への親の適切なかかわり方について考える。>
		18	さあ、どっち！？ ～信じる、見守る、待つ、聞く～ <反抗期等多感な時期の子どもとの接し方から、親子のより良いコミュニケーションの取り方について考える。>
「再び子育て、そして親育て」期 (子育て支援期) <自分の体験をもとに若い親たちを支援しつつ、共に学ぶ意欲を持つ。>	「『いまだきの親は』なんて言わない」編 (中高年などの子育て支援者対象) <現代の子育て環境の状況を学びつつ、若い親の子育てを支援する。>	19	思い出してみて… ～私にもあった青春時代～ <自分の青春時代を思い出し、子どもの思いに寄り添いつつ言葉を届ける術を考える。>
		20	キャッチボールは得意ですか？ ～気持ちをつたえる 胸の真ん中でうけとめる～ <進路選択を巡る親子のロールプレイをおして、子どもと気持ちを通じ合うことの難しさと大切さを学ぶ。>
		21	ほどよい距離感って？ ～子どもの自立と親の自立～ <子どもの自立を適切に支援できるような、親の接し方について考える。>
		22	よりそってみて… ～子育て環境の変化を知る～ <子育て環境の時代変化を知り、現代における子育て支援について考える。>
23	たちどまってみて… ～こんな場面で、あなたなら？～ <子育て中の親子へのわりについて意見交換し、適切な支援のあり方について考える。>		
24	かかわってみて… ～地域の大人ができること～ <子どもの豊かな成長を促す場をつくるために、地域の大人として何が出来るかを考える。>		

【テーマ別に開発した教材】★多様化する現代的課題に対応した新規開発教材です。

対象	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
乳幼児～高校生の父親	25	お父さんの子育てトーク！ ～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～ <父親として子育てにかかわることの楽しさを語り合い、自分なりにできることを考える。>
小学生～高校生の親	26	ケータイ！ウチではどうする？！ ～考えてみて、わが家流のつきあい方～ <子どもの携帯電話利用実態について話し合い、どうすれば子どもが携帯電話と上手に付き合うことができるかを考える。>
子育て期の親、働く人など	27	向き合ってみて… ～「仕事」と「子育て」の調和のために～ <仕事と生活（子育て）の調和を図り、子どもや家族と向き合うことの大切さについて考える。>
まもなく親になる人、 0～3歳児の親子	28	おひざにだっこでおはなししましょう ～絵本をひらいてみませんか？～ <読み聞かせの体験等を通して、子どもに対する読み聞かせの大切さを感じ、自分の子育てに取り入れるきっかけとする。>
まもなく親になる人、 0～3歳児の親	29	おひざにだっこでおはなししましょう ～読み聞かせ、どうしてる？～ <読み聞かせの悩みや工夫などの交流を通して、自分の読み聞かせを振り返るとともに、それぞれの実情に応じて、これからの読み聞かせに生かそうとする。>
中学生・高校生向け	30	地域ぐるみで子育て！ ～親の立場で考えてみよう～
中学生以上	31	あなたならどうする、どう考える？ ～親として、地域の一員として～

【アレンジ版教材】★新たな学習需要に応じて、基本の24教材をアレンジした教材です。

対象 <ねらい>	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
「親はウルサイけどアリガトウ」編 (中学生・高校生などの青少年対象)	2-2 アレンジ版	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～ <自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。> アレンジ内容：中学生により身近な内容となっています。
「自分が親になるなんて」編 (まもなく親になる人対象)	6-2 アレンジ版	出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～ <これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。> アレンジ内容：エピソードを変更し、体験談をもとに話し合う内容となっています。
「クタクタでもワッハッハ」編 (3～6歳児の親対象)	10-2 アレンジ版	こんな時、どうする？ ～子どもの気持ちを受け止める～ <子どもの気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。> アレンジ内容：エピソードを変更し、新たな場面に対応した内容となっています。
	12-2 アレンジ版	もうすぐ小学生！ ～期待と不安の中味とは？～ <新入学に向けて親が抱いている子どもへの期待と不安を整理し、親子で取り組めることについて考える。> アレンジ内容：小学校入学前に親が抱く子どもへの期待と不安を整理できる内容となっています。

【親子コミュニケーション応援編】★子供の気持ちに共感した接し方、コミュニケーションの方法を具体的に考える教材です。

対象 <ねらい>	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
概ね2, 3～6歳児の親	コ-1	「ちゃんとしてね！」で伝わってる？ <曖昧な表現では子供に伝わらないマンガを通して、子供の気持ちに共感した具体的な言葉かけや対応について考える。>
	コ-2	ほめて“楽”に子育て～悩むの中止で注視しよう～ <魔法の虫メガネで子供を見るマンガを通して、子供の気持ちに共感し子供の良いところを見つけてほめることの大切さについて考える。>
	コ-3	待つ門には福がくる！？ <支度する子供を父親が根気強く待つマンガを通して、子供の主体性を尊重し自分のできるように待つことの大切さについて考える。>
	コ-4	いきなりどなっていませんか？ <親が子供を一時的にどなるマンガの場面を通して、まず子供の気持ちを受け止め、伝えていくことの大切さについて考える。>

概ね2, 3～6歳児の親	コー5	備えあれば怒りなし！？ ＜お店での行動を「約束」してから行くマンガを通して、事前に説明したり約束したりすることの大切さについて考える。＞
	コー6	指示より支持してみよう ＜子供が自分で考えたり、試したりする行動を父親が見守るマンガを通して、見守ることの大切さについて考える。＞

【府中町開発教材】★地域のニーズにより開発した府中町独自教材です。

段階・対象 <ねらい>	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
「過ぎてしまえば一番幸せ」期 「イライラに対処する」編 (0～2歳児の親対象)	1	イヤ、イヤ、エーン！エーン！！ ～さあ困った！あなたなら～ ＜忙しい毎日の中で、どうすればイライラとうまくつきあえるか考える。＞
「過ぎてしまえば一番幸せ」期 「イライラに対処する」編 (3～6歳児の親対象)	2	鬼は外～ 福は内！？ ～さあ困った！あなたなら～ ＜忙しい毎日の中で、どうすればイライラとうまくつきあえるか考える。＞
「親子で登る自立の坂道」期 「イライラに対処する」編 (小学校1～3年生の親対象)	3	はやく、宿題やりなさい～！！ ～さあ困った！あなたなら～ ＜忙しい毎日の中で、どうすればイライラとうまくつきあえるか考える。＞
「親子で登る自立の坂道」期 「イライラに対処する」編 (小学校高学年～中学生の親対象)	4	寛太くんは青春真ただ中！？ ～さあ困った！あなたなら～ ＜忙しい毎日の中で、どうすればイライラとうまくつきあえるか考える。＞
「親子で登る自立の坂道」期 「イライラに対処する」編 (小学校4～6年生の親対象)	5	ただ今 ゲームに夢中！！ ～さあ困った！あなたなら～ ＜忙しい毎日の中で、どうすればイライラとうまくつきあえるか考える。＞
「過ぎてしまえば一番幸せ」期 「朝ごはんを食べよう！」編 (未就学児の親を対象)	6 (ステップ1・2)	朝ごはんを食べよう！ ～朝ごはん どうしてる～
「過ぎてしまえば一番幸せ」期 「睡眠は大事！」編 (未就学児の親を対象)	7	「寝る子は育つ」って ホント！？ ～どうして ねなくちゃいけないの！？～
「過ぎてしまえば一番幸せ」期 「子供とメディア」編 (未就学児の親を対象)	8	スマホに子守りをさせてませんか！？ ～子供がぐずった時のつきあい方～
親子コミュニケーション応援編 (乳幼児～小学生の親を対象)	親コミ アレンジ版	「ちゃんとしてね！」で伝わってる？

令和元年度 府中町「『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座

申 込 書

団 体 名 _____

代表者職・氏名 _____

連絡先住所 〒 _____

電 話 _____

ファクシミリ () _____

メールアドレス _____

担 当 者 _____

「『親の力』をまなびあう学習プログラム講座」を申し込みます。

内 容	第1希望	第2希望
希 望 日	年 月 日 ()	年 月 日 ()
時 間	: ~ : (分)	: ~ : (分)
会 場		
プログラム	※ 別紙プログラム一覧表により希望する教材番号を記入してください。	
対 象 者		
対象人数	人	
備 考	【この講座のねらい】 【講座に期待すること】 【対象者について知らせておきたいこと】 【託児の有無】	

